

人間学研究論集第14号： 目次,執筆要項,執筆者一覧,奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 武蔵野大学通信教育部 公開日: 2025-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000646

人間学研究論集

第 14 号

目 次

憲法第9条論	下 條 慎 一	1
空間作りから考える動物園・水族館の脱植民地化 — 地権力的まなざしをこえて — 大 倉 茂 ・ 安 嶋 汰 粹 ・ 大 森 和 樹 ・ 五十子 弥 那		9
尼に非ず俗に非ず（非尼非俗） — 浄土真宗寺院の良妻賢母 — ジェシカ・スターリング（共訳：亀 山 光明・中尾 温美・ネイト・ガラント）		19
障害者福祉施策に係る市町村の役割に関する文献研究.....	山 本 雅 章	33
民生委員・児童委員を対象とした児童虐待防止研修の開発とその効果の検討 — 民生委員・児童委員活動の可能性に着目して —	鎌 田 宗 純	43
ソーシャルワーク実習指導における ICT の活用がもたらす業務効率化の有用性と、 今後の展望と課題について — 実習指導者へのインタビュー調査からの考察 —	北 村 満 広	55
「草木国土悉皆成仏」の言葉に関わりを持つ能	末 光 里 枝 子	69
スクールソーシャルワーカーが“学びの場”の決定に介入する意義 — インクルーシブ教育推進のためのチーム学校の在り方 —	庭 山 風 人	81
宗教的实践とストレス対処 — 無宗教社会における精神的健康の資源としての可能性 —	三 上 優 美	91
2023 年度 武蔵野大学通信教育部シンポジウム 自分も相手も大切に作るコミュニケーション — アサーションとは —	平 木 典 子	101

武蔵野大学通信教育部研究紀要『人間学研究論集』

執筆要項

	2011年7月7日
改訂	2012年5月21日
改訂	2013年6月5日
改訂	2016年6月27日
改訂	2018年3月31日
改訂	2018年6月10日
改訂	2023年2月15日
改訂	2023年6月12日

1 内容

- (1) 学術論文
- (2) シンポジウムの内容
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。ただし、以下の(4)から(7)までの者は、通信教育部人間科学部専任教員または兼任教員の推薦を必要とする。

- (1) 通信教育部人間科学部専任教員
- (2) 通信教育部人間科学部・人間社会研究科兼任教員
- (3) 通信教育部人間科学部・人間社会研究科非常勤教員
(科目担当、スクーリング担当、レポート添削担当、TA)
- (4) 大学院通信教育部人間社会研究科研究生
- (5) 大学院通信教育部人間学研究科／人間社会研究科修了生
- (6) 通信教育部人間科学部卒業生
- (7) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子および、武蔵野大学学術機関リポジトリ上等の電子データとして公開する。
なお、執筆者は武蔵野大学学術機関リポジトリ規程に従い登録の削除申請を行うことができる。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学通信教育部研究紀要申込書」をメールで提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成したデータを提出しなければならない。
- (3) 査読の結果、掲載が許可された原稿は、指定された期日までに完成原稿のデータを提出しなければならない。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は横書きの和文のみとし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等
 - ①字数
16,000字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。
*書式はA4用紙で、本文10.5ポイント、38字×38行とする。
*図表、写真は適宜文字数に換算する。
*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることができる。
 - ②用語及び文体等
現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。
 - ③引用
引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。
例：[武蔵野太郎 2011] によれば、「●●●●●」と説明されている。
* [武蔵野太郎 2011] の論文名等は、文献一覧に記載する。
 - ④見出し
見出しをつける場合には、章や節は使用せず、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（I、II、III等）を使用する。
 - ⑤注
*注は文末注とする。
*注番号は1,2,3等の上付きとし、複数の注番号を付けてはならない。
例：【正】 ●●●●●●●●●●●●●●●●¹。
【誤】 ●●●●●●●●●●●●●●●●^{1,4,7}。
*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。
 - ⑥要旨
要旨について、学術機関リポジトリでオンラインアクセスができる機会が拡がっていることを鑑み、掲載しない（提出を求めない）。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

- (1) 掲載の採否は編集委員から選出された審査委員の査読結果に基づき、編集委員会が決定する。審査委員の氏名は公表しない。
- (2) 編集委員会は、原稿の書きなおしを求めることができる。
- (3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。
- (4) 査読規程については、別に定める。
- (5) 執筆者には、紀要3部を無償で配布する。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

執筆者一覧（五十音順／*は共同執筆者）

大 倉 茂	武蔵野大学通信教育部 非常勤講師／東京農工大学大学院農学研究院 講師
*安 嶋 汰 粹	東京農工大学大学院 農学府修士課程
*大 森 和 樹	東京農工大学大学院 農学府修士課程
*五十子 弥 那	東京農工大学大学院 農学府修士課程
鎌 田 宗 純	武蔵野大学大学院通信教育部 人間社会研究科 実践福祉学専攻 修了／滋賀県日野町 役場
ジェシカ・スターリング	ルイス & クラーク大学
*亀 山 光 明	武蔵野大学通信教育部 非常勤講師
*中 尾 温 美	独立研究者
*ネイト・ガラント	プリンストン大学博士課程
北 村 満 広	武蔵野大学大学院通信教育部 人間社会研究科 実践福祉学専攻 修了
下 條 慎 一	武蔵野大学通信教育部 兼任教員（法学部 教授）
末 光 里 枝 子	武蔵野大学大学院通信教育部 研究生／人間社会研究科 人間学専攻 修了
庭 山 風 人	武蔵野大学大学院通信教育部 人間社会研究科 実践福祉学専攻 修了
三 上 優 美	武蔵野大学大学院通信教育部 研究生／人間社会研究科 人間学専攻 修了
山 本 雅 章	武蔵野大学大学院通信教育部 非常勤講師（実践福祉学専攻）／静岡福祉大学社会福祉 学部 特任教授
平 木 典 子	一般社団法人 日本アサーション協会

武蔵野大学通信教育部

人間学研究論集 編集委員（五十音順）

浅 野 敬 子	川 島 哲
鈴 木 健 太	野 口 普 子
本 多 勇	前 田 壽 雄
前 廣 美 保	松 野 航 大
山 花 令 子	

人間学研究論集 第14号

2025年3月10日発行

編 集 武蔵野大学通信教育部 人間学研究論集 編集委員会

発行所 武蔵野大学通信教育部
〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20
電話 042-468-3481

印 刷 株式会社 文 伸
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17
電話 0422-60-2211

BULLETIN OF HUMAN STUDIES

Vol. 14

CONTENTS

On Article 9 of the Japanese Constitution
SHIMOJO, Shinichi

Decolonisation of Zoos and Aquariums by Thinking about Space Creation
: Beyond the Gaze of Geopower
OHKURA Shigeru · AJIMA Taiki · OMORI Kazuki · ISOKO Mina

Neither Nun nor Laywoman
: The Good Wives and Wise Mothers of Jōdo Shinshū Temples
STARLING, Jessica (Trans. KAMEYAMA, Mitsuhiro · NAKAO, Atsumi · GALLANT, Nate)

Literature Study on the Role of Municipalities in Welfare Policies for Persons with Disabilities
YAMAMOTO, Masaaki

Development and Preliminary Evaluation of Child Abuse Prevention Training for Commissioned Social
and Child Welfare Volunteers
: Focusing on Their Potential Contributions
KAMADA, Sojun

The Usefulness of Using ICT in Social Work Training Instruction to Improve Work Efficiency, and Future
Prospects and Challenges
: Insights from Interviews with Practical Training Instructor
KITAMURA, Michihiro

Noh Related to the Phrase “All Plants, Trees, Lands, and All Attain Budhahood.”
SUEMITSU, Rieko

The Role of School Social Workers in Decision-Making on the Choice of Educational Setting
: The Role of “School as a Team” in Advancing Inclusive Education
NIWAYAMA, Kazato

Religious Practices as a Coping Strategy for Stress
: Possibilities of Spiritual Health Resources in a Non-Religious Society
MIKAMI, Masami

Communication that Values Both Self and Others
: What is Assertion?
HIRAKI, Noriko